

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 香月 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

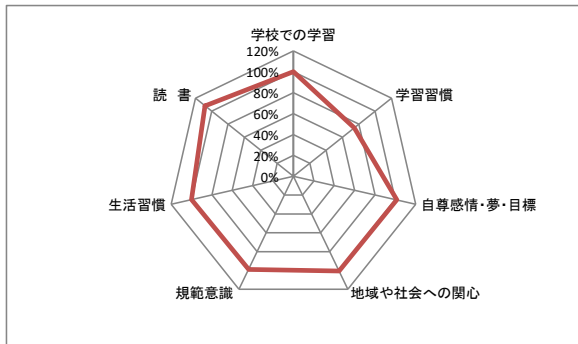
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	本校では「読むこと」に関する問題の正答率が高いのに対して「話すこと・聞くこと」の正答率が低い。問題形式では「選択式」の問題の正答率は全国平均と変わらないが「短答式」「記述式」の正答率が低い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	「読むこと」に関する問題、問題形式では「選択式」の問題	
	努力が必要な問題	「話すこと・聞くこと」に関する問題、問題形式では「短答式」「記述式」の問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	本校では「図形」に関する問題の正答率が高いのに対して「変化と関係」「データの活用」の正答率が低い。問題形式では「短答式」「記述式」の問題の正答率が高いのに対し「選択式」の正答率が低い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	領域では「図形」、問題形式では「短答式」「記述式」	
	努力が必要な問題	領域では「変化と関係」「データの活用」、問題形式では「選択式」	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
学習習慣以外の項目はほぼ全国平均と同等であるが、学習習慣だけが大きく下回っている。本校では学習習慣の定着に大きな課題がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

学習全体としては昨年5年時の北九州市学力状況調査に比べて大きく向上しているため現在行っている取組を継続する。後半の問題に無回答率が高まるため解答速度を速める取組を新たに取組んでいく必要がある。

② 家庭生活習慣等に関する取組

子どもたちに家庭学習の必要性を理解させるとともに、保護者と連携して家庭学習習慣の定着を図る。